

月刊 ふし



7月号

【特集】

美術 「中2 そっくりレプリカ」

美術 「中1 靴のスケッチ」

【連載】

家庭科 「中1 生活実践レポート」

《今月の表紙》

中2 ”そっくりレプリカ”

「そっくりレプリカ」

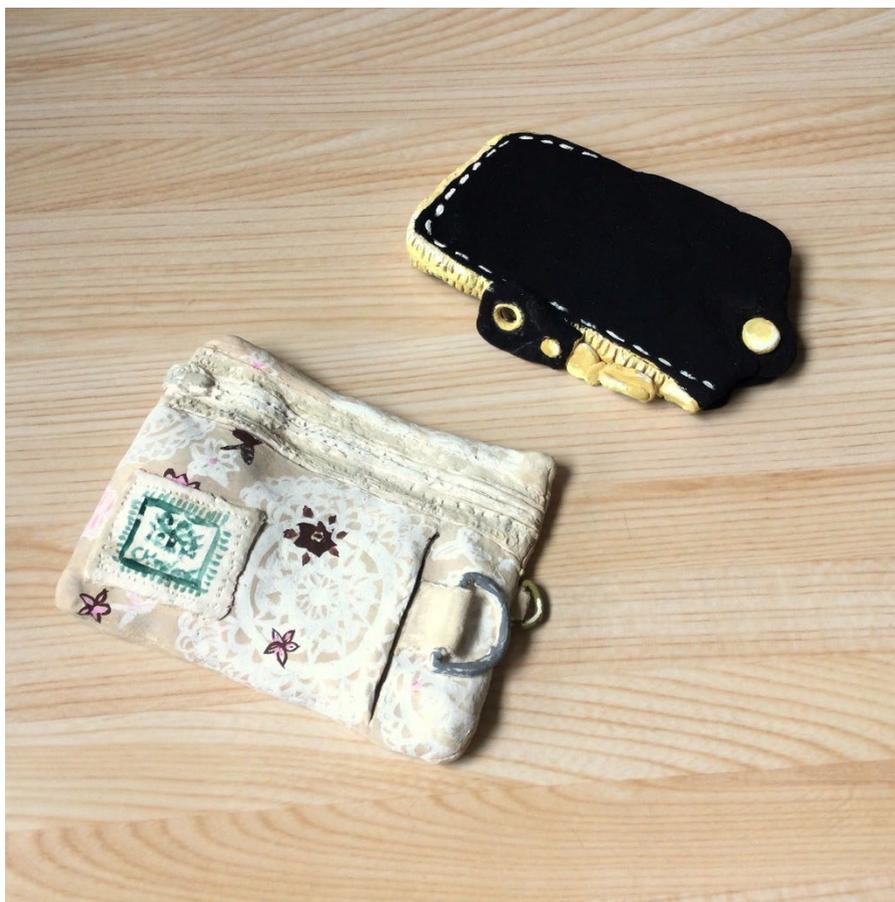
中学2年生の作品です。

石粉粘土で持ち物や身の回りの道具をそっくりに再現しました。柔らかそうに見えますが、すべてカチカチの粘土の塊です。

縫い目や材質によって出来るちょっとした形状の変化を見逃さずに造形するとそのものらしさを表せます。観察力を駆使して作り上げました。



左前：Iさんの作品
右奥：Tさんの作品



右上：Kさんの作品

左下：Kさんの作品



右上：Kさんの作品

左下：Kさんの作品



右上：Eさんの作品

左下：Iさんの作品



左上：Fさんの作品

右下：Iさんの作品



右上：Mさんの作品

左下：Kさんの作品



左：Kさんの作品

右：Kさんの作品

「靴のスケッチ」

中学 1 年が美術の最初の作品として描いたものです。運動靴はシンプルなものに見えて、描こうとすると複雑な構造をしていることに気づきます。立体的なものを平面に描くときは、予想や思い込みを捨てて、今見える長さの比率を素直に写すように象ることがコツです。

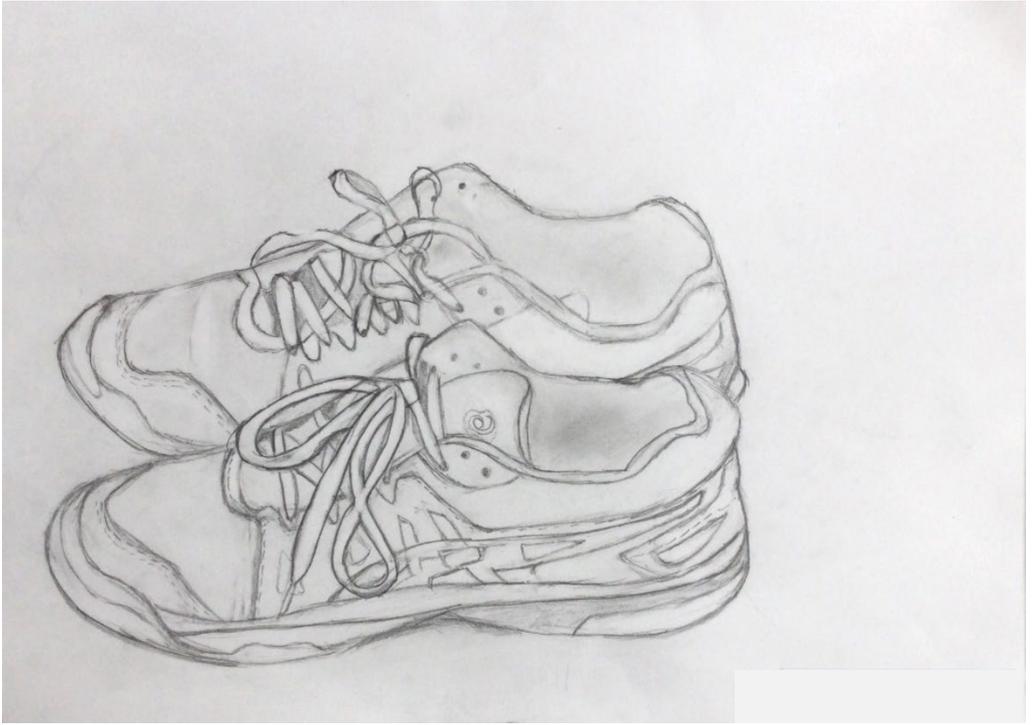
鉛筆の扱い方の基本から学び、じっくり描き上げました。



Kさんの作品



Sさんの作品



Tさんの作品



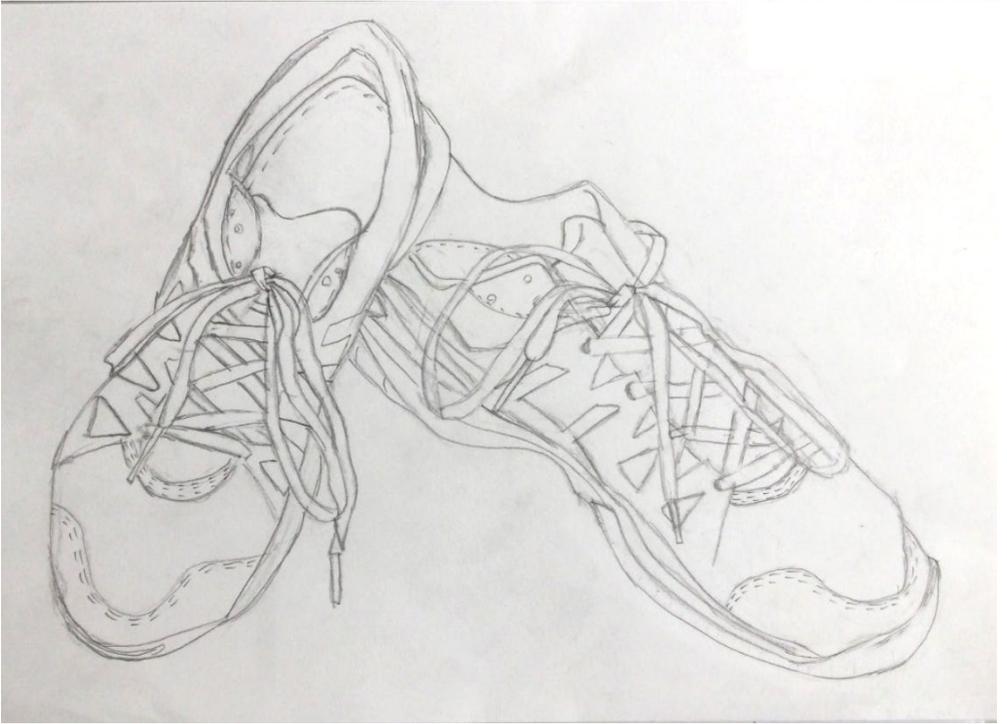
Mさんの作品



Iさんの作品



Kさんの作品



Eさんの作品



Hさんの作品



0 さんの作品



1さんの作品



Mさんの作品

「実践レポート」

1年間の家庭科の授業で学んだことを春休みに実践し、レポートにまとめました。

衣・食・住、生活の全てが学びになる家庭科。今の自分や家族に必要なテーマを選んで実践しています。中学1年が身につけた生活力をご覧ください。

来月も引き続き紹介します。

Kさんの作品

“靴磨き 一上靴一”

Eさんのレポート

全藤女子生の長期休暇の必須事項、靴磨き。

親任せはもう卒業です。

私は

靴磨き —上靴—

の実践をします

- この実践をしようと思った理由

いつも親にやってもらっているから。
毎日はいて汚れているから。

- この実践に関する中で、授業の中で学んだことや気づいた事は何ですか。

自分が普段使っているものを手入れすることによって、
いたみにくくなって長持ちしたり、衛生を保つことが
出来る。

- 準備するもの、必要なもの

靴磨き用のクリーム 靴
乾いた綿の布 カメラ(記録用)
新聞紙

- 手順

3月28日(火)

靴磨きをする前の写真をとる

↓
靴磨きをする

↓
靴磨きした後の写真をとる

取り組みの記録



最初は少しいた
んでいたり、白
く汚れていた。



靴磨きをしたこと
によって、汚れが落ち
て、黒く丈夫になっ
た。

実践してみてもかかったこと。感想。(できればお家の方にコメントも頂きましょう)

靴磨きをしたことによって、汚れが落ちたのはもちろんのこと、ものを大切にしようと思える様になりました。

“クローゼット用ホルダーを
手作りして快適な朝にしよう”

Mさんのレポート

お母様から追加発注がかかるほどの出来栄え！

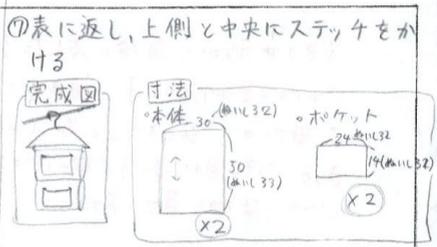
本日は

「クローゼット用ホルダーを手作りして快適な朝にしよう」
の実践をしましに

- この実践をしようと決めた理由
 - 朝制服に着がえる時に必要なタイツやヒートテックをまとめて置いておけたら便利だと思ったから。
 - 1年生で学んだ手縫いやミシン縫いを生かせると思ったから。
 - 棚などを床に置くよりもハンガーで上から吊るす方が床の掃除をしやすく、家の中を清潔に保ちやすいと思ったから。
- この実践に関することで、授業の中で学んだことや気づいた事は何か
 - 布はたて方向に伸びにくい。
 - 綿の布は伸びにくい。
 - 裁断する前に地直しをする。
 - 縫った部分にアイロンをかけて整えると仕上がりがきれいになる。
 - 布地の厚さや材質に合った針や糸を選ぶ。
 - 作品が丈夫になるように縫い方などを工夫するとよい。

- 準備するもの、必要なもの
 - 針金ハンガー (1本) ・ 糸、針などの裁縫道具
 - 布 (本体用) ^{のびにくい} 綿の生地を使用 ・ ミシン
 - 布 (ポケット用) ・ アイロン

- 手順
 - ① 布をたつ
 - ② ポケット口を三つ折りにして縫う (2枚)
 - ③ ポケットの縫い代を折り、本体の布に縫いつける
 - ④ 本体の上下にジグザグミシンをかける (2枚)
 - ⑤ ④の2枚を中表に合わせ、ハンガーを通して上下を縫う
 - ⑥ 両脇を三つ折りにして縫う



※仕上げにアイロンをかけた後、糸のしぼりをしたりする
※作り方は小物作りの本を参考にしました

(追加)
ハンガーに布のはぎれを巻く
→接着にボンドを使用

取組みの記録



・針金ハンガーが引っかけてタイツが伝線したり、制服がほころびたりしないようにハンガーに布の切れ端を巻きました。

・写真では見えにくいですが、ポケットの左上、右上は三角に縫って丈夫にし、長く使えるように工夫しました。



作ってみてから、もう少しポケットを深くした方が使いやすかったと後悔しました…。



・中央にスリッチをかけて上下に2つ袋のような部分をつくりました。

紺色のポケットの部分にはタイツやハンカチなど小さめのもの、袋の部分には脱いだ服やカーディガン、セーターなど大きめのものを入れる事ができます。

・ハンガー下のスリッチをかけるのが難しかったです。

・物を入れたり吊るしたりしても伸びてしまわないように、布の向きや材質に注意しました。

実践してみて/かかったこと。感想。(できればお家の方にコメントを頂きましょう)

- ・実際に使ってみて、これまでよりも朝の着替えがスムーズになったと感じました。
- ・ハンガーに吊るしてあるので床の掃除のときも邪魔になりませんでした。
- ・今回は家庭科の授業での学びを自分のために生かしましたが、今後は家族の生活のために家庭科を使っていきたいと思いました。

(ウロクインクローゼット用、ランドリールーム用) 母が職場のロッカー用に あと3つ作って下さい。母より

“非常用持ち出し袋の
中身を考えよう！”

Iさんのレポート

レポート用紙からはみ出るほどの情報量！

知育菓子への発想は若者ならでは？

私は

非常用持ち出し袋の中身を考えよう!

の実践をしまし

・この実践をしようと思った理由・

防災について学習した時、あまり家族で災害時にどう行動するかという
ことの確信ができていたからということの方がたため、この春休み
に自分だけでも、役立つような事をしておきたいと思ったから。

最近、クワ江の知育菓子を何度か食べていて、非常食によるぞうだと感じたから。

・この実践に関する中で、授業の中で学んだことや気づいた事は何か。

災害が起きても、安全な空間を
保つには、普段からの「備え」が必要

→ 非常用持ち出し袋の用意

→ 安全な寝室の確保
など

→ 防災について...
。非常食 → 栄養素のバランスが良いの
の方が良い。

。防災グッズ → 新聞紙など、様々な
場面で使えるようなもの
とは? 毛糸を活用し、
様々なものが作れ
そうだと。

・準備するもの、必要なもの・

調べるためのパソコン・(非常食)栄養成分表示・X用紙・筆記用具
などなど...

・手順・

① まずは非常用持ち出し袋に何を入れたらいいか、プリントを見たり、ネットで
調べてみる

↓
② それぞれ、具体的にどんなものがいいか、それをふまえて考えてみる

↓
③ 自分なりにまとめて、「取り組みの記録」に書く

↓
④ ようがある時に、実際に非常用持ち出し袋に入れる。

リュックも良いが、身近なものは
常備するのも良い



リュック? (バックパック) →

分かったこと

取組みの記録

非常食

世間でもおかしな事

毛糸も使える?

アルルギー物質にも気を付けて用意すると良いと思う。

大切な人の写真を残しておくと良い

- 非常用持ち出し袋に入れると良いもの
 - 飲料水 ← 5年、10年といった長期保存が可能なもの
 - アルファ化米 ← お湯または水を入れるだけで調理ができる特殊な米。3~7年ほど保存ができる
 - フリーズドライ食品 ← お湯または水を入れるだけで完成する。3~5年ほど保存ができる
 - 非常食用パン ← 5~7年ほど保存ができる最近にはパウエーションも9割
 - レトルト食品 ← レンジやお湯でなくてもすぐに食べられるものもある。3~7年ほど持つ。
 - 缶詰 ← 災害時に役立つ。2~3年ほど持つ。
 - その他 ← お菓子など
 - クラシエの知育菓子シリーズ ← ねるねるねるね など

トイレ用の水もあまじい

1人あたり1日必要量の目安
飲料水 9リットル 主食 9食分
おかず 9食分 お菓子 6食分

子供に必要な栄養素のカルシウムが多く含まれている。近洋菓屋戸下で過激な時も、楽しく過ごすこともできる。また、体力が減った時に取ると良い、糖分も、しかりと取ることからできる。どの年齢でも楽しめる。少し長持ちする。

- 例) たのしいおまつりさんの栄養成分表示 24gあたり(1食)
 - 熱量 100kcal たんぱく質 0.2g 脂質 1.5g 炭水化物 22g 食塩 0.01~0.07g
 - カルシウム 52mg
- 貴重品 (現金、印鑑、預金通帳、保険証のコピーなど)
- 防炎ずきん、ヘルメット、マスク、軍手、手袋
- 救急用品、懐中電灯 (電池も)
- ラジオ、充電器、スマートフォン ← 防災アプリや機能を活用できる
- 新聞紙 ← スリッパの他に防寒具、食器皿や患部の保護などに活用することもできる
- ラップ ← 患部の保護などにも使える
- 筆記道具 ← 耐水×メモ帳やタブレットも便利

- まとめなど
 - ① 家族構成によっても入れるものを考える
 - ② 非常食は炭水化物、たんぱく質、ビタミンA
 - ③ 自分の体や体外に合わせて用意する
 - ④ 自分に必要なものだけを入れる
 - ⑤ 災害時の1日をイメージして用意

実践して分かったこと。感想。(できればお家の方にコメントを頂きましょう)

やはり、毎日から災害時のことを考え、災害になった時に、どう行動がするのかがということも頭に入れ、生活していくことが大事だと思った。また、本に書ききれないほどの量の物を用意しなければいけないことが分かり、より災害が身近だということを実感した。ためにクラシエの知育菓子シリーズを色々試しながら調べたため、楽しんで学ぶこともできた。